

# 台中東南ロータリークラブ 南門時計塔改修及び美化事業

本ロータリークラブは、1968年に成立して以来、今日まで、半世紀を越えました。楊玉華(GEM)会長が発起し、時間厳守運動を提唱し、姉妹クラブである日本大阪堺ロータリークラブと日本東京小金井ロータリークラブから多額の寄付を頂き、ロータリー3社の共同名義で、南門三角公園に精工標準時間時計台を設置しました。

南門時計塔は林論下(Building)前会長の設計監督の下、1975~76年頼兆銘(Magnet)会長在任中に完成されました。1989~1990年、本社の黃演禮(Paper)会長在任中に資金を集めて整備し、時計塔を常に管理、修理し、永遠に正確な時刻を刻むようにしました。2004-2005年度第36代張仲雄(Light)会長は、国際ロータリー100周年の際、世界クリーンアップの日の行事に呼応して、「クリーンアップ・ザ・ワールド」「楽掃除・台湾愛-台中市南門里清掃イベント」を開催し、大阪堺ロータリークラブ/東京小金井ロータリークラブ姉妹クラブを招待して、台中市南門三角公園「ロータリー100周年桜の木植え記念イベント」を開催し、前任の会長らの南門時計塔の伝承と整備に感謝し現在に至ります。

時計塔を更に価値あるものにするため、2023-2024年度に創立55回を迎えた際、改修工事を行うことにしました。時計のムーブメントの洗浄、コントローラの更新、大理石の碑の改装、時計の外観の補修とペイント、台座の補修とペイント等、改修整備の期間中、台中東南ロータリーメンバーが心を一つにし、時間と費用をかけてくれたことに感謝します。同時に日本大阪堺ロータリークラブと日本東京小金井ロータリークラブの協賛と寄付に感謝します。また私たちのクラブがロータリー地区賞の助成金を得ることができたことはとても光栄で、地区ガバナーに感謝します。南門の時計塔は順調に整備され、しっかりとそびえ立ち、壮大で美しいを保つことができるようになりました。



# 台中東南扶輪社 南門鐘塔整建及美化

本社成立於1968年迄今已逾半世紀，社長楊玉華 (GEM) 發起南門三角公園建造精工標準時鐘塔，以提倡守時運動，並得到姊妹社日本大阪堺扶輪社以及日本東京小金井扶輪社慨贈鉅金，因此特以三個扶輪社名義聯合建造。

於是南門鐘在前社長林論下(Building)的設計監工下，在1975-76年賴兆銘 (Magnet) 社長任內完成。1989-1990年本社黃演禮 (Paper) 社長任內，集資整建，並給予時鐘塔不斷地照顧與維修，使時鐘永遠準時。2004-2005年度第36屆社長張仲雄 (Light) 社長，在國際扶輪100週年之際，響應世界清潔日活動，特舉辦「Clean up the world」、「樂清掃、愛台灣-清掃台中市南門里活動」，並邀請日本大阪堺姊妹社 / 日本東京小金井姊妹社，一同舉辦台中市南門三角公園「扶輪百週年種植櫻花樹紀念活動」，感謝各位前社長傳承並維修南門鐘，讓南門鐘一直持續至今。

為讓時鐘塔歷久彌新，決定在2023-2024年度，本社創立第五十五屆進行整修美化工程。包括時鐘機芯的清洗、控制器的更新、大理石碑的換置美化、時鐘外觀修補與油漆、墩座的修補與油漆。在整建期間感謝東南扶輪社友，不分彼此，奉獻時間與錢，同時非常感謝日本大阪堺扶輪社及日本東京小金井扶輪社共襄盛舉慷慨捐款，同時感謝地區總監讓我們很榮幸獲得扶輪地區獎助金，讓南門鐘塔得以順利整建，持續屹立不搖，美輪美奐。

